

# 令和4年度 事業評価シート

基本情報		所属名	商工振興課		
事業名称	商業環境施設維持管理費補助金				
実施根拠 (条例・規則・要綱等)	船橋市商店街施設整備費及び街路灯維持管理費補助金交付規則 船橋市商店街施設整備費及び街路灯維持管理費補助金交付基準				
事業開始年月日	昭和46年度	最終制度改正年月日	令和4年4月1日		
事業目的 (実現・達成したいこと)	商店街の環境整備を図るとともに、明るい魅力ある商店街環境をつくり、商店街の販売促進と消費者の利便を図る。				
事業概要 (誰に、何を、どうするのか)	商店街が管理する街路灯の維持管理費の一部を補助する 【対象経費】①街路灯電気料 ②電球等交換費 ③塗装補修費 【補助率】①2/3 ②10/10 ③1/2 【補助上限】①なし ②1球あたり2万円 ③2万円(塗装のみは1万円)				
実施背景 (事業を実施することになった背景・要因)	昭和46年度に、安全で明るく楽しい買い物できる商業環境整備を目的として、補助金交付要綱制定(昭和53年度に要綱を規則化)				
これまでの経緯 (対象者・要件・限度額、サービス内容などの制度の変遷)	<p>○平成21年度 省エネ電球交換費を補助対象に追加</p> <p>○平成22年度 省エネ化促進を目的とし、電気料補助率を省エネ電球の場合は2/3、水銀灯・蛍光灯の場合は1/2とする(ただし、省エネ電球の割合3/4以上の場合は補助率2/3、割合3/4未満の場合は補助率1/2とする)</p> <p>○令和4年度 定期監査の指摘を踏まえ、電気料の補助率を2/3に統一</p> <p>○令和4年度 包括外部監査の指摘を踏まえ、補助対象経費を税抜き価格に変更</p>				
事業内容	対象者	内容(要件・単価・限度額・サービス内容など)			
	街路灯を維持管理する商店会	事業概要のとおり			

## 事業実績

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費 (単位:千円)	当初予算額	11,910	11,709	11,244	10,937
	うち一般財源	11,910	11,709	11,244	10,937
	決算(見込)額	10,181	8,230	10,099	-
対象者数・ 交付件数など	交付件数(電気料)	45件	45件	44件	42件
	“(電球交換)	2件	7件	6件	6件
	“(塗装補修)	0件	1件	1件	0件

### 交付税、国・県補助の有無

	有無	(ありの場合)名称・内容
交付税措置	なし	
国・県補助	なし	
(国・県補助への) 上乘せ・横出し	なし	

### 業務量

繁忙期	4月				
業務頻度 (年1回・月1回など)	電気料補助は年1回、その他は商店会からの申請の都度				
人工		常勤職員	会計年度任用職員	再任用(フル)	再任用(短)
	人工	0.2 人工	0.0 人工	0.0 人工	0.0 人工
	従事者数	2 人	0 人	0 人	0 人

※ 職員1人の労働力=1人工。当該事業の人工を記載。複数人が携わっている場合は、それぞれの人工を合計。

【記載例】従事者数:2人、労働力の割合がそれぞれ3割の場合 ⇒ 合計0.6人工(0.3人工+0.3人工)

## 評価結果

所属名	商工振興課
事業名称	商業環境施設維持管理費補助金

### (1) 一次評価（自主点検）で明らかとなった課題、今後の方向性（改善のアイデア）

項目		課題	今後の方向性
1	事業の継続性・持続可能性	商店会員の高齢化・減少により、街路灯の維持管理が困難となる商店会が増える恐れがある。	一部の商店街施設としてこだわりを持って管理している商店街を除き、地域防犯のためにやむなく続けている商店街街路灯については、自治会防犯灯を含め市が一括管理する。
2	市の他事業と類似	—	—
3			
4			

### (2) 追加で整理した課題、今後の方向性（改善のアイデア）

項目		課題	今後の方向性
1	事業の継続性・持続可能性	商店街によっては、商店街の環境整備や市民の利便を目的に設置した街路灯が、現在では、町会・自治会が設置する防犯灯のように犯罪の防止等を目的として維持されている状況がみられる。	商店会が街路灯を維持することが困難となった場合の対応策として、防犯灯として維持する必要性の判断基準やその管理手法について検討する。
2	市の他事業と類似	防犯灯としての役割に移行している街路灯が増えているが、防犯灯については、維持管理費に対する補助を自治振興課で実施している。	上記と同様
3			
4			

## 取組状況

※令和4年度評価結果に対する各年度の取組状況を記載しています

所属名		商工振興課			
事業名称		商業環境施設維持管理費補助金			
項目	状況	令和5年度状況	令和6年度状況	令和7年度状況	
1	事業の継続性・持続可能性	継続 街路灯電気料の補助率を4/5に引き上げたことにより、電気料高騰の影響を受ける商店会の負担軽減を図った。 商店街街路灯管理のあり方については調査中の他市事例を参考として、検討を進めている。	-	-	
2	市の他事業と類似	継続 街路灯電気料の補助率を4/5に引き上げたことにより、電気料高騰の影響を受ける商店会の負担軽減を図った。 商店街街路灯管理のあり方については調査中の他市事例を参考として、検討を進めている。	-	-	
3		-	-	-	
4		-	-	-	